

津久見市の小児医療・小児保健の向上を目指して

こどもの病気対策法⑦

感染症の休園、休学の目安 編

大分大学地域医療・小児科分野 是松 聖悟 / 小宅医院 小宅 民子 / 津久見中央病院小児科 宮原 弘明

今年度より、大分県から大分大学医学部に委託された「おおいた地域医療支援システム構築事業」は、地域における小児医療の安定供給を目的とした事業です。津久見市においては、津久見市、津久見医師会、および市民の皆様からの多大なご支援を得て、活動を継続しています。この場を借りて深く感謝申し上げます。津久見市では、子どもの健全やかな成長をサポートするため、新たに、幼稚園、保育園の先生方と小児科医の勉強会を開始しました。津久見中央病院にて月1回、30分程度で子どもの病気についてのミニ講演会を開催しています。12月はインフルエンザ、1月は嘔吐下痢症を取り上げました。市民の方々の聴講も可能ですので、中央病院や各保育園、幼稚園にお問い合わせください。

さて、今月は、その勉強会の中で生じた疑問である「子どもの感染症が感染しうる期間は、いつからいつまでだろうか？ 休園、休学期間の目安はどの程度か？」についてまとめましたので、ご報告します。

通常の風邪の場合は、解熱から24時間、またはウイルス

を撒き散らす咳がある程度落ち着くまで、幼稚園、保育園、学校はお休みすることが望ましいと考えます。夜まで熱があったが、朝は解熱していたからといって、登園、登校させることは避けていただきたいものです。朝、解熱して、昼からまた発熱させるウイルスはたくさんありますから、治っているわけではありません。そこで風邪をばら撒いてお友達が肺炎になったり、脳がおかされて、その後障がいを抱えた人生を余儀なくされる可能性もあることを認識ください。

今月の表は感染症の感染期間や休園、休学の目安を示しています。これを見ていただくと、感染しうる期間がいかに長いかわかり、その前から感染することもお分かりになると思います。誰かが病気を発症した場合、その蔓延を防ぐことには限界があるのです。その背景から、私達は、これまでこの紙上で予防接種の重要性を訴えてきました。ワクチンのある病気は治療法のない病気ばかりです。予防できる病気は予防して、子どもを安心して育てられる津久見市の実現にご協力をお願いいたします。

感染症	潜伏期	感染経路	感染しうる期間		★学校保健法による出停期間
			※1 蔓延を防ぐための注意点	※2 治癒の目安	休園、休学の目安(私案:是松、小宅、宮原)
インフルエンザ	1~2日	飛沫	発症後3日まで		★解熱後2日経過するまで
百日咳	6~15日	飛沫	咳発作後3週まで		★特有の咳が消失するまで
麻疹(はしか)	10~12日	空気、飛沫	発症前4日から出現後5日まで		★解熱後3日を経過するまで
流行性耳下腺炎(おたふく風邪)	14~24日	飛沫(唾液)	発症7日前から発症後9日まで		★耳下腺の腫脹が消失するまで
風疹	14~21日	飛沫	発症期の前後1週間		★発疹が消失するまで
水痘(みずぼうそう)	約2週間	空気、飛沫、接触	発疹出現1~2日前から		★すべての発疹が痂皮化するまで
アデノウイルス感染症	5~6日	接触、飛沫	発症3日前から、眼・咽頭は2週間、糞便は3~4週間		★主要症状が消退した後2日を経過するまで
溶連菌感染症	2~4日	飛沫	無治療では2~3週間、抗生剤治療後2日まで		抗生剤開始24時間以降で全身状態よいとき
手足口病	2~7日	経口(糞便)、飛沫	発熱、口腔所見がある急性期は感染力が強い、長期間消化管から排泄されるが感染力は強くない		解熱し、口腔所見がなくなるまで
りんご病	6~20日	飛沫	発熱、ウイルス排泄は感染後7~12日、発疹は17~18日		発疹がでた後は、休園を要しない
ヘルパンギーナ	2~7日	飛沫、経口	咽頭からのウイルス排泄は発症後2~3日まで		解熱の翌日まで
マイコプラズマ肺炎	2~3週	飛沫	4~8週間		医師の許可があるまで
クラミジア肺炎	2~4週間	飛沫	不明		医師の許可があるまで
単純ヘルペス感染症	2~7日	飛沫、接触、垂直	不明		水疱がなくなるまで
伝染性単核球症	20~30日	飛沫、接触、経口	唾液より長期間		解熱の翌日まで
突発性発疹	5~15日	飛沫	唾液から2~4週間		休園を要しない
O157腸炎	4~8日	牛の腸管、糞便、経口	※2 24時間以上間隔をおいた便培養で連続2回陰性		下痢がなくなるまで
カンピロバクター腸炎	2~11日	野生動物、鶏肉	自然排泄で1~3週間		下痢がなくなるまで
サルモネラ腸炎	8~24時間	鶏肉、ミドリガメなど	約3週間、※2 便培養連続3回陰性		下痢がなくなるまで
ノロウイルス腸炎	1~2日	経口(糞便、吐物中)	1~2週間		下痢がなくなるまで
ロタウイルス腸炎	1~3日	経口	症状がある期間		下痢がなくなるまで
伝染性膿痂疹(とびひ)	2~10日	接触	※1 かさぶたが完全に消失するまで感染力あり		休園を要しない
伝染性軟属腫(水イボ)	2~6週間	接触	※1 ビート板、浮き輪、タオルを共用しない		休園を要しない
アタマジラミ	1か月程度	接触	※1 タオル、クシ、ブラシを共用しない		園医または専門医に連絡し、対策を講じる